

◆カリキュラム・ポリシー 《教育課程編成・実施の方針》◆

【大学】

学位授与方針として掲げた5つの能力を修得するために、本学の「カリキュラム編成の基本となる主要概念」に基づいて、人間はその人らしく生きること、楽しみ喜び幸せ、癒しを求めて生きる存在であることの理解と、人間性を高め、科学的思考を修得することで看護のジェネラリストとしての統合力を持つ人を育成する方針のもと、基礎分野の一般教養科目、専門基礎分野の医学系科目、保健・福祉系科目、専門分野の専門科目、実習科目、発展科目を配置し、カリキュラムを編成する。

1. 看護専門職者として求められる基本的な資質・能力として、豊かな人間性と高い倫理観を持ち、深い愛と癒しの対人関係力を修得する。
2. 看護専門職者として求められる基本的な資質・能力として、生命の尊厳に基づくいのちを慈しむ心を持ち、思考力と行動力を修得する。
3. 看護の対象を理解する基本的知識と看護実践の基本となる専門基礎知識として、科学的な根拠に基づく臨床判断力を持ち、看護過程を展開する力を修得する。
4. 多様な場における看護実践に必要な基本的知識として、看護の課題に複眼的視座を持ち、専門的かつ創造的な看護実践力を修得する。
5. 社会と看護学並びに臨地実習と看護学研究からの学びを統合して、看護学の発展のために自己研鑽を継続し、新たな看護の創出を目指す研究力を修得する。

【大学院】

- 1) 本課程の教育理念に則って、ディプロマ・ポリシーを達成するために、豊かな人間性と高い倫理観、高度な看護実践力、看護実践を支える科学的・哲学的基盤に基づいた教育力、研究力と組織における改善・改革、社会のニーズや健康に関する課題への対応力を修得する。

修士課程では、専門能力を養うために教育理念に基づき高度実践看護職養成コース、教育者・研究者養成コースを設け、「慢性看護学分野」「地域看護学分野」「メンタルヘルス看護学分野」「看護管理学分野」「母性看護・助産学分野」の5分野において以下のようなカリキュラムを編成する。

カリキュラムを構成する科目群として「共通科目群（共通基礎科目・共通専門科目）」と「専門科目」を配置する。

- ① 共通科目群の共通基礎科目では看護の対象である人間を多面的に探究するために必要な選択4科目各2単位（倫理学・社会学・臨床心理学・保健統計学）を配置する。
- ② 共通専門科目では看護の質向上のために対象や現象を的確にとらえ分析するために必要な必修3科目各2単位（看護理論・看護学研究方法論Ⅰ・Ⅱ）、選択4科目各2単位（看護教育論・看護管理学・看護政策論・コンサルテーション論）を配置する。
- ③ 専門科目では「慢性看護学分野」「地域看護学分野」「メンタルヘルス看護学分野」「看護管理学分野」「母性看護・助産学分野」の5分野において、高度専門看護職として社会に貢献するために必要な理論的・科学的・実践的科目必修14単位（特論Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ、セミナー）を配置する。
- ④ これらの科目を通して学生の研究課題に沿った研究を進めるための必修科目6単位（看護学特別研究）を配置する。
- ⑤ 高度実践看護職養成コース選択者に必要な各看護学分野実習選択4単位を配置する。